

# クラブ紹介

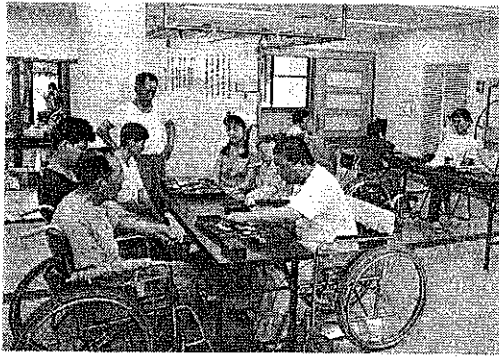
## 対戦

### 『ゲームクラブ』

ゲームと言ってもオセロ、将棋のクラブです。会員は、十五名います。

第一、第三火曜日の午後から始まります。駒の運べない人も、盤に数字を書き入れていますから結構楽しくゲームをすることが出来ます。

日頃の腕を競うトーナメント試合が、二



さて、次の一手はどれかな？

ヶ月に一度あります。会員以外の方の参加もあるため三十名ぐらいが激戦を繰り広げます。優勝した人には、トロフィーが渡されます。日頃一、二番の実力がありましても、試合前日体調を崩し、残念ながら涙をのむ人もいます。

又川内町の文化祭の時は、将棋の部門で何名か毎年参加して、良い成績を納めています。

クラブの日は、地域の人達の参加もお願いして、もっともっと腕を磨き楽しいクラブにしたいと思っています。

我々と思わん方は、ゲームクラブに参加してみませんか。

部長

渡部 義丸

副部长

杉浦 文雄

クラブ員

十五名

活動日

第一、第三火曜日



## 雑感

家族 池田 耕一

「こんにちは」「いらっしやい」で始まる私のホーム訪問は、いつも明るい笑顔と



元気なあいさつで迎えていただきます。

「藤まつり」では、家族の会話がそここに聞え、いつもながらのなごやかな風景がありました。私も、おでん、やお抹茶を頂きましたが、皆様と共に雰囲気を楽しみながら一つのものを分け合って食べるのもスキップの第一歩だと感じました。年に何回かのこうした催しやチャンスの中で皆様のお話しを聞きながらの貴重なひと時でした。と同時に本当に肌と肌の触れ合いの必要性を感じました。

「元氣？」「うん。」「変わったことない？」「うん。」と簡単な会話の中から親子、兄弟の絆を感じ、そういう中で何かにつけて相談を持ちかけ、何かを考えるという意識をし合い、何かをしているという自覚を持つことが生活の向上になることだと信じています。お互いに甘えながら、頼りにしながら暮らしていく、そのことから私たちの結びつきがあるのだと信じています。日常の生活の中では寮母さんたちに三百六十五日それをお願いしてお世話を頂いており、本当に親身も及ばぬお力添えに心の中で掌を合わせて感謝をいたして居ります。私もチャンスのある度に顔を合わせて、グチったり、笑ったりしながら、「変わったことない？」「うん。」を続けていきたいと思っております。

「うちわふりまたこんどねと車椅子」